

地域における男女共同参画推進活動報告書



平等・開発・平和

ともだち共立

第32号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

ジェンダーギャップの解消に向けて

富山県知事政策局政策推進室

ジェンダーギャップ対策課長 野村 美和



皆様には、日頃より本県の男女共同参画の推進にご尽力いただき、改めて感謝申し上げます。

県では、第5次富山県民男女共同参画計画に基づき、職場や地域をはじめ各分野における女性の参画拡大と、誰もが能力を十分に発揮できる環境づくりに取り組んでおります。中でも、性別による決めつけや無意識の思い込みへの気づきと行動のアップデートを重点課題として取り組んでいるところです。

こうした中、今年度は、学校等で出前講座の実施、職場や地域における性別に関わるアンコンシャス・バイアス解消事例の特設サイトでの発信に加え、地域におけるアンコンシャス・バイアスへの気づきを促す取組みを後押しするため、地域での学びに活用できる普及啓発テキストを作成いたしました。自治会やPTA活動、各種団体等での学習会や研修など、幅広い機会でご活用いただくことで、取組みの裾野を広げ、日常の場面での「気づき」から具体的な「行動」へとつなげていくことができると考えております。

皆様のご協力のもとこうした取組みを進めるなか、多くの反響が寄せられ、社会全体での男女共同参画への関心の高まりや、女性活躍の機運の広がりを実感しております。一方で、地域や世代、職場の慣行などにより課題の現れ方は様々であり、丁寧で継続的な働きかけが重要であると認識しております。

来年度、富山県男女共同参画推進条例施行25周年の節目を迎えます。この機会を捉え、ジェンダーギャップの解消に向け、家庭や地域におけるアンコンシャス・バイアスへの気づきを促す取組みをさらに加速させていきたいと考えております。また、皆様が日頃の活動のなかで感じたことを研修会等の機会にぜひお寄せください。皆様との緊密な連携のもと、より効果的な取組みとなるよう努めてまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

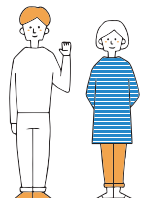
この広報紙は高岡市のホームページからご覧いただけます。

富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

検索



HP



三 二 地 区 懇 談 会

6月21日(土) 国吉・五位・福岡地区

講演「みんなの力を活かして地域防災力をアップしよう ～キーワードは男女共同参画～」

講師：NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち 大坪 久美子さん（防災士）
佐野 君子さん（防災士）

講演では、災害時の実態と避難所で起きる困難を解決するために必要な考え方を学びました。災害時の実態では、災害による関連死が直接死よりも多く、約4倍になったケースもあるとのこと。避難所では、環境面・生活面・安全面において、性別や立場により、それぞれ困難なことがあり、中でも、避難所でDVや性暴力が発生していることに驚きました。困難を解決するには、多様な人々がいることを認識し、それに配慮した体制や支援が必要で、そのためには、避難所運営には様々な分野の経験者・有識者が参加することが大切になります。確かに、ありがちな男性リーダーのみでは、女性・子ども・要介護者等に必要なのが反映するのが難しい気がします。その観点からも老若男女共同参画がとても重要だと思いました。グループワークでは、災害時の具体的な場面を設定し、意見交換を行い、性別・立場・個人で考え方が異なることを学びました。

アンコンシャス・バイアス（無意識でのものの見方や捉え方の偏り）を自分の中で直ちに無くすことは難しいですが、異なる考え方があることを認識し、相手の立場になってその考えに至る理由を考えようと思いました。これまで避難所生活の経験が無くここまで具体的に考えることがなかったので、考えさせられる機会となりました。（竹下衣利）



6月27日(金) 成美・能町・万葉地区

講演「地域防災講座～大切な命を守るために～」

講師：NPO 法人富山県防災士会 中村 晴美さん（防災士）

近年、自然災害などが頻繁に発生していることから、富山県防災士会の中村晴美さんを講師にお招きして講座を行いました。

「自分の命は自分で守る」をテーマに、災害への備えの重要性をお話しされました。防災とは、災害による被害を最小限に抑えるための準備や対策を指します。避難場所の事前確認や非常用持ち出し袋の準備、家族との連絡方法の共有など危機が迫った際の具体的な行動などが紹介されました。また、ごみ袋とペットシート、新聞紙を使った簡易トイレの作り方の説明もありました。



災害時には正確な情報を得ることが重要であり、「防災アプリ」などの情報源の活用が紹介されました。非常食については、日常的に少し多めに購入し、消費と補充を繰り返す「ローリングストック」が有効だと知りました。さらに、災害が起きた際の個人の避難計画を「マイ・タイムライン」として書き出し、家族と共有することが推奨されました。災害がいつ起こるか分からない中で、防災意識を家族と共有する重要性を学ぶことができました。（門前 善英）

2月7日(土) 高陵・高岡西部・下関・二塚地区

講演「高岡市の災害リスクと防災 ～女性の視点で備える力をアップデート～」

講師 NPO 法人富山県防災士会、ふく女防災士会 蓑 道子さん（防災士）

令和5年7月には県内初の線状降水帯による豪雨災害が発生したほか、令和6年1月には高岡市内で震度5強の地震が発生するなど、近年災害が多発していることから、今回は『防災』をキーワードにミニ地区懇談会を開催しました。

講師の蓑さんは福岡地区で防災士として活躍されており、過去の災害における体験談や今までの防災活動についてお話ししていただきました。浸水や地震に対して、日頃からハザードマップの確認や土のう、備蓄品などの個人としての対応策や、段ボールベッドの設置などの防災士会・地区での活動など様々な面からお話しされ、大変有意義な内容の講演でした。講義中の「避難所で男性が直面する問題は何か？」との問いにはうまく答えることができなかったのですが、男女平等推進を進める中で大変重要な課題であると感じます。今後も答えを考えていきたいと思っています。

「地震は抜き打ちテスト、浸水は定期テスト」というフレーズがとても印象的でした。命に関係するとても大切なテストとなります。常日頃からの準備がとても大切であると強く感じました。（畠山 新平）



定例会

6月28日(土) 男女共同参画週間

講演「あなたも私も自分らしく生きるために ～個人の尊重とジェンダー平等～」

講師：富山国際大学子ども育成学部教授 坂谷 環さん

講座では、ジェンダー平等がなかなか進まない日本、そして富山県の実態を詳細な資料を基にお話しされました。世界経済フォーラムが発表している世界各国のジェンダー平等の進展を表す「ジェンダー・ギャップ指数」の2025年版では、日本は148か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスですが、「政治」と「経済」の値が低いことが示されています。また、大学教授等で構成する地域からジェンダー平等研究会が公表した「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」では、富山県の指数は、「行政」13位、「教育」2位、「経済」28位、「政治」45位でした。



県内では、確かに小・中学校、高校の校長や教頭には女性も多く登用されていますが、企業や各種団体のトップに女性は少なく、女性の首長はいません。昨年の参議院議員選挙で、県選出初の女性国会議員が誕生したのは大きな進歩と考えられるでしょう。

男女の役割やあるべき姿に対する「無意識の思い込み」が根強く存在することを、誰もが認識することから始める必要があります。また、教育面では、制服やカリキュラムといった目に見える部分から変革を進めることが重要です。次世代の子どもたちが、個性豊かに幸福を追求できる社会を築く責任が私たちにはあることを、改めて学ぶ機会となりました。（竹田 桂子）

10月25日(土) 男女平等EXPO高岡

講演「ワーク・ライフ・バランスの実現のために ～人生100年時代に「仕事と人生の調和」を考える～」

講師：スマイルライフアカデミージャパン代表、佐久大学信州短期大学非常勤講師 佐藤 志穂さん

ほっほっ ははは！ ほっほっ ははは！

特徴的な声が会場に響きます。これは講師の佐藤志穂さんが教えてくださった「笑いヨガ」の呼吸法であり、掛け声です。佐藤さんは幼稚園教諭を退職された後、子どもたちの運動教室を設立され、その指導で笑顔を引き出す方法を模索していたところ、笑いヨガに出会いました。母として、妻として行き詰まっていた佐藤さん自身の気持ちをオープンにしてくれた笑いヨガの研究を重ね、いまでは国内や海外で数多くの笑いヨガの講演を行い、ワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、笑顔を通して豊かな人生を築くヒントを伝えています。

ワーク・ライフ・バランスは、仕事と生活の調和が取れた状態をいいます。生活の充実が仕事の充実につながり、それがまた生活の安定につながっていきますが、現代社会ではこの好循環が思いどおりにいけないことが多いのではないのでしょうか。幸福感を感じにくい日々、笑顔になる瞬間を見出し、さらに増やしていくことで未来を切り開くヒントを与えてくれる素敵な講演でした。

「ほっほっ ははは！」は佐藤さんが書いた絵本のタイトルでもあります。挿絵もかわいらしく、読むだけで元気をもらえる内容となっています。高岡市の男女平等推進センターへ寄贈いただきましたので、ぜひご覧ください。（田中 信幸）



9月21日(日)

自主研修会

「落語で学ぶ男女共同参画 ～笑って学ぶ女(ひと)と男(ひと)～」

講師：創作落語家 はやおき亭貞九郎さん



「みんなの笑顔は私の元気の素」をキャッチフレーズに、落語、腹話術、人形劇の講演活動をされている「はやおき亭貞九郎」さんをお招きし、男女共同参画に関連した身近なエピソードなどを、創作落語を通して楽しくお話ししていただきました。

講演では、ご自身の介護の経験の話から、男性は普段から家事に携わりどこに何があるか知っておくことや家庭内で町内会のことを情報共有しておくことの重要性、男女の役割を決めつけずに向いている方がやる、助けあって楽しく生きることの大切さを教えていただきました。

会場ではたくさんの笑いもあり、参加者から「貞九郎さんの話から男女共同参画に興味を持ち勉強になった」「自身の経験と重なり懐かしく感じた」などの意見が寄せられました。

家庭、地域における男女共同参画についての大切さを楽しく学ぶことができる貴重な機会となりました。(金刺由香里)



男女共同参画週間 街頭啓発

日時 6月28日(土)
場所 高岡駅南北通路

男女共同参画週間の街頭啓発活動として、高岡駅南北通路にて、男女共同参画の啓発チラシとボールペンなどの啓発グッズの配布を行いました。土曜日の昼間ということもあり、若者から年配の方まで多くの方にお渡しすることができました。

性別や年齢を問わず、多くの方に男女共同参画について関心を持っていただき、理解を深めていただければ嬉しいです。

(山田 真央)



高岡七夕まつり マイ七夕作成

日時 7月27日(日)
場所 御旅屋アーケード内

男女平等・共同参画の市民への啓発と高岡連絡会の活動の周知のため、高岡七夕まつりのマイ七夕づくりに参加しました。

子ども達も参加してくれ、短冊に願い事を悩みながらも楽しく書いていました。大人も子どもも汗が落ちるほど暑い日でしたが、みんなが一つの目的で動くところは、皆が平等に、そして皆で努力できる社会になれると思える光景でした。この光景がいつまでも続いてほしいと思いました。(山田 真央)



編集後記

今年度、私たちは歴史的な瞬間を目の当たりにしました。女性初の内閣総理大臣、そして富山県初の女性国会議員の誕生。この追い風を受け、私たち各部会も多彩な企画で男女共同参画への理解を深めました。前進できたのは、企画運営に尽力いただいた皆様、そして学びを行動に移してくださった皆様のおかげです。心から感謝申し上げます。(灘岡 彩香)

広報部会

- 副会長 灘岡 彩香
- 部長 田中 信幸
- 金刺 由香里
- 門前 善英
- 吉川 奈美
- 一川 卓巳
- 竹下 衣利
- 竹田 桂子
- 山本 郁子
- 山田 真央